

編集方針

本報告書は、大和証券グループの持続可能な社会構築に向けた活動を、わかりやすく開示すること、および現状と課題を自己評価することを目的に、2002年度から継続的に発行しています。

CSR報告書2010では、より多くのステークホルダーの皆様へ当社の考え方と取組みを知っていただくために、冊子の特集編として、特にお伝えしたい情報に絞ることで読みやすく理解しやすい内容としました。

ステークホルダーごとの取組みと課題・目標などを含む全編は、Webサイトにて報告します(2010年8月公開予定)。

また冊子、Webともに、持続可能性報告の国際的なガイドラインであるGRI※のサステナビリティ レポーティング ガイドラインを参考とし、誠実な開示に努めています。

※GRI(Global Reporting Initiative):持続可能性報告に関する世界共通のガイドラインの立案、普及を目的とする団体

本書の対象範囲など

対象読者:

主にお客様、株主・投資家、社員をはじめ、取引先、政府、NPO/NGO(非営利組織)、大和証券グループの属する地域社会、教育機関、役職員の家族など、大和証券グループの幅広いステークホルダーの方々です。

報告対象範囲:

原則として当社グループ主要全社(26ページご参照)。ただし全項目についてそれら主要会社すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の規模や事業内容などに応じて記載しています。数値データには、それぞれの対象範囲を明記しています。

報告対象期間:

2009年度(2009年4月~2010年3月)。一部には、2008年度以前や、2010年度に予定されている活動情報も含まれています。

発行時期:

2010年6月
(前回発行:2009年6月、次回発行予定:2011年6月)

お問い合わせ先

株式会社 大和証券グループ本社 CSR室
電話番号 (03)5555-1111(代表)
eメールアドレス daiwacsr@dsgi.daiwa.co.jp
URL <http://daiwa-grp.jp/csr/>

特集編 → コミュニケーション・ツール

- ・重要度が高く、ステークホルダーの皆様の特にお伝えしたい情報
- ・読みやすい編集



特集編(冊子)

CSR重要課題・
トップメッセージ
など

全編(Webサイト)

マネジメント・社会・環境など
活動の詳細情報

CSR報告書2010全編は
Webサイトをご覧ください。

全編 → 情報開示・説明責任ツール

- ・ステークホルダーごとの取組みと課題・目標などの詳細情報
- ・GRIガイドライン指標を踏まえた報告





CSR報告書2010 特集編 (冊子) 目次

大和証券グループCSR報告書2010の概要	1	■ 重要課題2	
トップメッセージ	3	健全な金融・資本市場を発展させ次の世代につなげる	13
大和証券グループの使命と企業理念	5	■ 社員が「働きがい」を感じる職場をつくる	17
■ 重要課題1		■ ステークホルダーダイアログ②	
金融機能を活用して持続可能な社会に貢献する	7	持続可能な金融ビジネスとCSR	21
■ ステークホルダーダイアログ①		CSR課題・実績と目標	23
貧困撲滅への新たな挑戦	11	大和証券グループの概要	25
		事業内容	26



CSR報告書2010 全編 (Webサイト) <http://www.daiwa-grp.jp/csr/report2010/> コンテンツ

- 編集方針／CSR報告書の概要
- 大和証券グループの概要
- トップメッセージ
- ステークホルダー・ダイアログ①
貧困撲滅への新たな挑戦
- ステークホルダー・ダイアログ②
持続可能な金融ビジネスとCSR
- 大和証券グループのCSR**
 - 大和証券グループのCSR
 - 重要課題1
金融機能を活用して持続可能な社会に貢献する
 - 重要課題2
健全な金融・資本市場を発展させ
次の世代につなげる
 - 社員が「働きがい」を感じる職場をつくる
- マネジメント報告**
 - CSR課題・実績と目標
 - CSRマネジメント
 - コーポレート・ガバナンス
- コンプライアンス
- 情報開示(ディスクロージャー)
- 社会性報告**
 - お客様とのかかわり
 - 株主とのかかわり
 - 社員とのかかわり
 - 社会とのかかわり
- 環境報告**
 - 大和証券グループの環境負荷
- 経済性報告**
 - ステークホルダーとの経済的かかわり
- 第三者意見
- 社外からの評価
- 大和証券グループCSR活動のあゆみ
- 「CSR報告書2010」読者アンケート
- GRIガイドライン内容索引
- PDFダウンロード